

開催日時	平成26年10月14日(火) 午後6時30分～8時	開催場所	平潟町公民館
質 問		回 答	
≪女性・平潟町在住≫			
1	防災行政無線が場所によって聞こえづらい。本町地区や井戸の入地区はよく聞こえるが、東地区や中東地区は地形の関係か、内容が聞き取れない。聞こえづらい地区には、数を増やして設置してほしい。	1	現在防災行政無線は、61基設置していますが、おっしゃるとおり聞こえづらい地域があることは承知しています。今後も設置箇所については、拡大していく予定です。現在の状況調査について、公民館長とともにご協力いただければありがたい。(市長)
≪男性・平潟町在住≫			
1	平潟に観光客が来ない状況が続いています。その理由として、公共施設がないことが大きく影響していると思うのです。大津には、よう・そーや市場食堂(物産館)、五浦岬公園、五浦美術館と観光客が立ち寄れる施設がたくさんあります。平潟は、港湾整備も完了間近であり、次は観光に力をいれる時期にきています。そこで、ブルーツーリズムを利用し、漁業を媒体とした施設を整備し平潟漁港で水揚げされたものを楽しめる施設としてほしい。併せて、主水屋敷の跡地の整備を行い、両方の施設を融合させ、観光客の集客できる平潟にしてほしい。	1	平成21年度には、主水屋敷再生プロジェクト委員会を立ち上げ、跡地利用についての意見を取りまとめましたが、震災により建物が崩壊し取り壊す結果となりました。平潟地区において主水屋敷の重要性については十分承知していますが、今は、平潟の市民の命を守る震災からの復興施策を優先することをご理解いただきたい。まずは、平潟の基盤整備を行い、その後、地域の皆さんと一致協力しながら施設等について考えていきます。(市長)
2	平潟東側の津波被害にあった土地の買い上げの状況と今後の土地利用方針についてお聞きしたい。	2	震災の津波では6名の尊い命が奪われるなど甚大な被害を受けました。そこで、市民の生命・財産、安全安心の確保のため集団移転を視野に住民説明を行いました。25年9月には平潟・磯原地区で、国の同意により防災集団移転促進事業を実施しました。現在は、買取対象の土地を鑑定中であり、価格決定後に売買契約を締結する予定です。また、背後地に継続して居住される方々の安全確保のため、防災公園等を検討し、それに復興交付金を活用できないか国と協議中です。(企画政策課)
≪男性・大津町在住≫			
1	平潟町も大津町も震災で大きな被害を受けたが、北茨城市の備蓄の状況について知りたい。	1	震災時は、20カ所の避難所に約5,000人避難しました。それを踏まえ5,000人分の非常食、水、毛布を備蓄しているのでご安心いただきたい。また、過日お配りしたリュック(非常用持出袋)が機能するかどうか、中身のチェック等を含め確認をお願いしたい。(市長)